

# 第49期 報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日



弥陀ヶ原ホテル

立山貫光ターミナル株式会社

## 事業概況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成27年度の事業概況についてご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、経済成長戦略や金融緩和政策により、企業収益や雇用環境に改善の兆しが見られる等、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、その一方で、中国および新興国経済の減速や年末以降の日経平均株価の下落、そして国際テロの拡散等、先行きへの不透明感が残りました。

観光業界におきましては、平成27年の訪日旅客数が、円安による割安感の定着や原油安による航空運賃の低下等に支えられ、過去最高の1,973万人に達し、政府が当初、東京オリンピックまでの目標に掲げていた2千万人に迫る等、観光業界を牽引する伸びを示しました。

このような中、当期は、立山黒部アルペンルートの営業再開に合わせ、4月10日に弥陀ヶ原ホテルが、そして4月16日にホテル立山が営業を再開し、弥陀ヶ原ホテルは11月4日まで、ホテル立山は11月30日まで営業いたしました。

営業の推移を概観いたしますと、ホテル立山と弥陀ヶ原ホテルでは、北陸新幹線開業により北陸地域への注目が一気に高まり、4月から好調なスタートを切る事ができ、その後におきましても安定した天候に恵まれ、各月で宿泊人員が前年を上回りました。その結果、ホテル立山は、宿泊人員が37,004人(対前年111%)となり、宿泊収入は対前年113%、食堂収入は対前年107%、売店収入は対前年103%、収入合計では対前年108%となりました。

また、弥陀ヶ原ホテルは、宿泊人員が18,320人(対前年117%)となり、宿泊収入は対前年119%、食堂収入は対前年119%、売店収入は対前年105%、収入合計では対前年118%となりました。

宇奈月国際ホテルにつきましては、北陸新幹線開業の効果、特に黒部宇奈月温泉駅の開業による「宇奈月温泉」の認知度向上が奏効し、宿泊人員が29,413人(対前年122%)と前年を大きく上回りました。これにより、宿泊収入は対前年131%、売店等を加えた収入合計では、対前年129%となりました。

この結果、当期の売上高は、ホテル立山収入7億86百万円(対前年113%)、弥陀ヶ原ホテル収入3億95百万円(対前年118%)、宇奈月国際ホテル収入5億15百万円(対前年129%)、食堂飲食及び物品販売収入10億60百万円(対前年105%)となり、これにビル賃貸収入1億75百万円(対前年100%)を加えた売上高合計は29億32百万円(対前年112%)となりました。さらに、営業外収益890万円を加えた収益合計は29億41百万円(対前年112%)となった次第であります。

次に営業費につきましては、経営全般にわたる効率化に努めましたが、備用品費、誘客手数料等が増加し、これに営業外費用を加えた費用合計は28億9百万円(対前年104%)となりました。

以上により、当期の経常利益は1億31百万円となり、さらに特別損失、法人税等ならびに税効果会計による法人税等調整額を加減した当期純利益94百万円を計上することとなりました。

### ホテル立山宿泊営業成績表（平成27年度）

項 目	実 績	前年比%
営業日数	229	100
宿泊人員	37,004	111
一日平均宿泊者数	161	110
営業収入	786,257	113
宿泊収入	783,782	113
雑収入	2,474	91
一日平均収入	3,433	113
客室数	85	100
延使用客室数	16,046	109
客室回転率	82	109
宿泊定員	265	100
宿泊効率	61	110

（備考）営業期間(当期)：平成27年4月16日～平成27年11月30日(宿泊日数228日)

営業期間(前期)：平成26年4月16日～平成26年11月30日(宿泊日数228日)

### 室堂飲食及び物品販売業営業成績表（平成27年度）

項 目	実 績	前年比%
営業日数	229	100
室堂到達人員	787,918	107
営業収入	1,060,102	105
食堂収入	369,871	106
喫茶収入	118,344	108
売店収入	562,613	103
雑収入	9,274	117
一日平均収入	4,629	105
営業収入/室堂到達人員	1,345	97

（備考）営業期間(当期)：平成27年4月16日～平成27年11月30日

営業期間(前期)：平成26年4月16日～平成26年11月30日

### 弥陀ヶ原ホテル営業成績表（平成27年度）

項 目	実 績	前年比%
営業日数	209	100
宿泊人員	18,320	117
一日平均宿泊者数	87	116
営業収入	395,151	118
宿泊収入	322,381	119
雑収入	739	171
食堂収入	41,943	119
売店収入	30,086	105
一日平均収入	1,890	118
客室数	52	100
延使用客室数	8,156	116
客室回転率	75	116
宿泊定員	176	100
宿泊効率	51	117

（備考）営業期間(当期)：平成27年4月10日～平成27年11月4日(宿泊日数208日)

営業期間(前期)：平成26年4月10日～平成27年11月4日(宿泊日数208日)

## 宇奈月国際ホテル営業成績表（平成27年度）

項 目	実 績	前年比%
営 業 日 数	366	100
宿 泊 人 員	29,413	122
一日平均宿泊者数	80	121
営 業 収 入	515,165	129
宿 泊 収 入	422,984	131
追加飲食収入	32,322	123
施設利用収入	8,416	136
日帰り収入	13,843	116
売 店 収 入	32,947	114
雑 収 入	4,651	127
一日平均収入	1,407	115
客 室 数	64	100
延 使 用 客 室 数	11,860	120
客 室 回 転 率	51	120
宿 泊 定 員	304	100
宿 泊 効 率	27	122

（備考）営業期間(当期)：平成27年4月1日～平成28年3月31日

営業期間(前期)：平成26年4月1日～平成27年3月31日

## 財産および損益の状況の推移

区 分	第46期 (平成24年度)	第47期 (平成25年度)	第48期 (平成26年度)	第49期(当期) (平成27年度)
売 上 高 (千円)	2,559,870	2,732,003	2,622,243	2,932,350
当期純利益(損失) (千円)	11,425	14,355	△35,052	94,391
1株当たり当期純利益(損失)	12円69銭	15円95銭	△33円61銭	104円87銭
総 資 産 (千円)	1,590,851	1,671,313	1,881,278	2,119,321

# 平成28年度の取り組み

観光業界では、価格競争と観光地間競争により、引き続き厳しい経営環境が予想されます。その中で、効率的な事業運営と収益の確保に努め、経営基盤の安定化をはかってまいります。

## 1 営業施策

待望の北陸新幹線開業から1年が経過し、交流人口の拡大と旅客流動の変化が確かにもたらされました。この大きな転機を絶好のチャンスと捉え、継続的に収益を確保していくために、積極的な誘客促進および受け入れ態勢の整備に努めてまいります。さらに、アルペンルートの知名度、認知度の向上を図り、「立山黒部」ブランドを確立することにより、今後の経営環境の変化に柔軟に対応できる安定的な経営基盤を固めてまいります。近年の旅客の個人化に対応するため、自社インターネットプランの販売強化をさらに進めてまいります。今年で3年目となる宿泊と輸送のセットプランの拡充並びにFIT対応の取り組みとして海外予約サイトに参画する等、多様化する旅客ニーズに合わせた商品を造成し、きめ細やかな情報発信を継続的に進め、安定した顧客の獲得に結びつけてまいります。

これまでも好評をいただいております「雪の大谷散策」や「星空観察会」などのイベント・アクティビティーに加え、雷鳥に特化したガイドツアーを実施する等、引き続きホテル三館それぞれの特徴を生かしながら企画の充実に努めてまいります。

また、6・9月には大手旅行会社と連携を行い、北陸新幹線開業1周年記念特典として「アルペンルート乗り物ペーパークラフト」を進呈する企画の造成、ホテル全館貸切企画の増販、特選ツアーの設定等の営業施策により、収益確保に繋げてまいりたいと存じます。

お越しいただいたお客様には、基本的な接遇の徹底と、各館の特徴を踏まえたサービスの提供を通じて、顧客満足度の向上を図り、リピーターの確保に努めてまいります。

## 2 宿泊・食品の安全確保と自然保護

お客様に安心、信頼してご利用いただけるよう、施設や食品の安全には、今後とも万全を尽くしてまいります。施設の日常点検と整備、そして食品の衛生管理と品質管理を徹底してまいります。

また、環境に配慮した施設設備の維持更新、ごみ処理対策の徹底等、引き続き、立山黒部の大自然を守り伝えるための努力を続けてまいります。

これからも、佐伯初代社長を始めとする幾多の先人の方々の、アルペンルート創業にかけた理想と理念を受け継ぎ、積極的な誘客促進と、安全かつ満足度の高い受け入れ態勢の構築に全力を傾注してまいります。

今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 財務諸表

## 貸借対照表の要旨

(平成28年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>820</b>	<b>流動負債</b>	<b>369</b>
現金及び預金	725	支払手形	40
売掛金	6	買掛金	16
未収金	14	短期借入金	40
商品	2	未払金	160
貯蔵品	48	未払費用	7
前払金	6	未払法人税等	33
前払費用	0	未払消費税等	19
繰延税金資産	15	前受金	2
その他	0	預り金	11
<b>固定資産</b>	<b>1,299</b>	賞与引当金	36
<b>有形固定資産</b>	<b>1,096</b>	<b>固定負債</b>	<b>642</b>
建物	528	長期借入金	140
建物附属設備	242	退職給付引当金	499
構築物	101	長期未払金	2
機械及び装置	15		
車両及び運搬具	10	<b>負債合計</b>	<b>1,012</b>
器具及び備品	51	<b>(純資産の部)</b>	
土地	119	<b>株主資本</b>	<b>1,190</b>
建設仮勘定	26	資本金	900
<b>無形固定資産</b>	<b>4</b>	利益剰余金	290
ソフトウェア	3	その他利益剰余金	290
電話加入権	1	繰越利益剰余金	290
<b>投資その他の資産</b>	<b>197</b>	評価・換算差額等	△ 82
投資有価証券	94	その他有価証券評価差額金	△ 82
関係会社株式	35	<b>純資産合計</b>	<b>1,107</b>
繰延税金資産	36		
その他	31	<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,119</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,119</b>		

## 損益計算書の要旨

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位: 百万円)

科目	金額
売上高	2,932
売上原価	791
<b>売上総利益</b>	<b>2,140</b>
販売費及び一般管理費	2,016
<b>営業利益</b>	<b>124</b>
営業外収益	8
営業外費用	1
<b>経常利益</b>	<b>131</b>
特別損失	26
<b>税引前当期純利益</b>	<b>105</b>
法人税、住民税及び事業税	29
法人税等調整額	△17
<b>当期純利益</b>	<b>94</b>

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。また、消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## 株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本				評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計		
		その他 利益剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	900	195	195	1,095	△ 6	1,089
当期変動額						
当期純利益		94	94	94		94
株主資本以外の 項目の当期 変動額(純額)					△ 76	△ 76
当期変動額合計	-	94	94	94	△ 76	17
当期末残高	900	290	290	1,190	△ 82	1,107

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社概要／役員

(平成28年6月28日現在)

●設立年月日  
昭和42年12月24日

●資本金  
9億円

●発行済株式総数  
900,000株

●株主数  
2名 立山黒部貫光株式会社  
富山地方鉄道株式会社

## ●役員

代表取締役社長	佐伯 博
専務取締役	佐川 栄
常務取締役	永崎泰雄
常務取締役	新森雅夫
取締役	桑名博勝
取締役	中川 修
取締役	石野一美
取締役	見角 要
取締役	高江 均
監査役	高平 亮
監査役	中田邦彦

## アルペンルートと会社のあゆみ

昭和27年 4月 1日	立山開発鉄道株式会社（TKR）設立（資本金2,500万円）
29年 8月13日	鋼索線（千寿ヶ原～美女平）営業開始
30年 7月 1日	高原バス（美女平～弘法）営業開始
31年10月 4日	弥陀ヶ原ホテル営業開始（TKR）
35年 5月 8日	立山黒部有峰開発株式会社（TKA）設立
39年 6月20日	高原バス全線（美女平～室堂）営業開始
8月 1日	関電トンネルトロリーバス（扇沢～黒部ダム）営業開始
11月 7日	TKA第34回取締役会で新会社（TKK）設立を決議
12月25日	立山黒部貫光株式会社（TKK）設立（資本金4億円）
42年12月24日	立山貫光ターミナル株式会社（TKT）設立（資本金3,000万円）
44年 5月 8日	室堂ターミナルビル建設工事着工
7月20日	黒部ケーブルカー（黒部湖～黒部平）営業開始
12月 9日	立山トンネル貫通
45年 7月 1日	富山～信濃大町間を「立山黒部アルペンルート」と命名
7月25日	立山ロープウェイ（黒部平～大観峰）営業開始
12月15日	一般自動車道 桂台～美女平間供用開始（TKA）
46年 4月25日	立山トンネルバス（室堂～大観峰）営業開始
6月 1日	立山黒部アルペンルート全線開業
47年 8月28日	室堂ターミナルビル全館完成
9月 1日	ホテル立山営業開始
54年10月 1日	TKKとTKAが合併
61年 4月11日	宇奈月国際ホテル新築工事着工
62年 9月21日	宇奈月国際ホテル営業開始
平成 2年10月 1日	立山黒部サービス株式会社（TKS）設立（資本金1億円）
3年10月11日	弥陀ヶ原ホテル改築のため閉館
6年 7月12日	弥陀ヶ原ホテル改築営業開始
12年 4月 1日	弥陀ヶ原ホテルTKRから経営受託
17年10月 1日	TKKとTKRが合併 (存続会社 立山黒部貫光株式会社)
21年 4月 1日	宇奈月国際ホテルTKKから経営受託

# ホテル3館のご案内

## 立山黒部アルペンルート



### ホテル立山

〒930-1414 富山県中新川郡立山町芦峯寺室堂

☎ (076) 463-3345 FAX (076) 463-3348

<http://h-tateyama.alpen-route.co.jp/>



### 弥陀ヶ原ホテル

〒930-1412 富山県中新川郡立山町芦峯寺弥陀ヶ原

☎ (076) 442-2222 FAX (076) 442-2242

<http://midagahara.alpen-route.co.jp/>

## 宇 奈 月 温 泉



### 黒部峡谷宇奈月温泉 宇奈月国際ホテル

〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉7-26

☎ (0765) 62-1236 FAX (0765) 62-1808

<http://unazukikokusai.alpen-route.co.jp/>

(編集・発行) 立山貫光ターミナル株式会社

〒930-8558 富山県富山市桜町1-1-36

☎ (076) 441-3331 (代表) FAX (076) 433-1185